

ビデオ 通信

2012年
8月23日(木)
No.3609

毎週月・木曜日発行
1ヶ月¥11,550(税込)
発行：飯澤剛
編集：齋藤浩一、齋藤知香

ユニ通信社

東京都千代田区神田司町2-10
神田司町国土ビル2F 〒101-0048
TEL：03-5256-1521
FAX：03-5256-1525
E-mail：vt@uni-press.net

IMAGICA 赤坂ビデオセンター

「マルチフィニッシングルーム」が好評 オフライン編集～フィニッシングサービスまで一貫制作 32台分のマルチカメラ収録に対応

(株)IMAGICAが赤坂ビデオセンターに7月にオープンした「マルチフィニッシングルーム」が、好調な立ち上がりを見せている。簡単操作で好評を得ている既存のマルチオフラインサービスと、マルチ映像専用のノンリニアオンライン編集をシームレスに連携させることで、フィニッシングまでに要する時間を大きく圧縮することが可能となっている。さらに、コンサート等の収録現場に、マルチ画面を構成するためのマルチプロセッサおよび専用ソフトウェアを提供、技術者の派遣を行うことで、収録後すぐにオフライン編集作業に着手できるなど、よりスピーディな対応が可能となっている。



マルチフィニッシングルームの全景。向かって右側がマルチオフラインのシステム、左側がオンラインのシステムとなる

オフライン／オンライン編集をシームレスに提供

新設した「マルチフィニッシングルーム」は、オフライン編集からオンライン編集までシームレスなサービスを提供する編集室。

テレビ制作部 赤坂EDグループ エディターの山野護氏は「これまでではオフライン編集したEDLデータを元に、オンライン画質の素材をバッチデジタイズしていたため、オフライン後の画質上げ作業に大きな時間を要していました。マルチフィニッシングルームでは、マルチオフライン編集後にプレビューした素材を、そのままオンライン編集用の素材として活用できる効率的なファイルベースワークフローを確立しているため、フィニッシングまでのスピードが断然速くなりました。マルチオフライン編集した結果をそのままオンライン画質に反映でき、OK テイクの貼り替えも簡潔に行えるため、これまで以上に自由度高く作品のクオリティを高めていくことにも貢献できます」とする。

マルチオフライン編集システムとシームレスでネットワークされたフィニッシングシステムは、Media Composer/Final Cut Pro/Premiere/EDIUS など多様な編集ソフトウェアを装備しているほか、Post Deko や DaVinci Resolve といったアプリケーションも導入しており、作業内容や目的に合わせたきめ細やかな対応が可能となっている。



マルチフィニッシングルームのオンラインシステム。DaVinci Resolve の作業に対応して Avid Artist Color グレーディングパネルも装備する

簡単操作のマルチオフラインシステムが好評



マルチオフラインシステム

IMAGICA では、独自のマルチオフラインシステムを開発して、2001 年からサービスを開始した。同社システムは、スイッチングによる非常に簡単な操作でマルチオフライン編集作業を進めることが可能。マルチオフライン用キーボードに配列されたボタンで、マルチ画面を選択するだけの編集作業のため、編集システムに精通していなくても操作が可能という。テレビ営業部 品川営業グループの山本啓介氏は〈編集経験の浅い方であっても 30 分程度の説明だけで、すぐに取り組んでいただけるようなシステムです。オフラインエディターをご指名いただくことも多いですが、ディレクターさんご自身が編集されるのが大部分を占めるだけでなく、アーティスト自らがマルチオフライン編集を行うケースもあります。簡単な操作でクリエイティビティを追求できるシステムとして非常に好評をいただいています〉としている。

赤坂ビデオセンターでは、マルチオフライン編集室を 2 室有しており、マルチフィニッシングルームと連携した効率的なワークフローを提供することが可能となっている。



マルチオフラインキーボードは、膨大な撮影素材の中から最も魅力的な映像を簡単な操作で選択できる

撮影現場との連携、システムも強化

さらに、同社では自社開発したマルチプロセッサと専用ソフトウェアを撮影現場に持ち込むことで、カメラ 32 台分の映像をその場でマルチ画面として収録できるサービスを展開している。カメラごとに収録した素材を個々にデジタル化するという準備作業が不要なため、撮影直後にオフライン編集を開始することができるなど、スケジュールのさらなる短縮が可能となった。

また、マルチオフライン編集システムは、オフライン編集時に ENG カメラで収録した素材やトラックダウン音源などを追加して同期することが可能で、最大 36 面で編集できることから、ユーザーから高い評価を得ているという。今回は、これら従来の機能に加えて、要望が多かった 24p

映像への対応や、オフライン編集した結果のプレビューを HD 画質で行えるようにするなど、一層のサービス強化を図った。

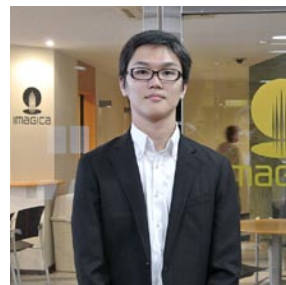
7 月にオンエアされたライブ番組では、F65/F35/ALEXA/PMW-F3/SRW-9000PL といった多様なフォーマットで収録された 30 ソースのマルチ素材を 24p で編集し、素材間の色調整を DaVinci Resolve によるグレーディングで補うといったポストプロダクション作業が行われた。

上野氏は「マルチ編集は、膨大な撮影素材の中から最も魅力的な映像を選択するだけでなく、24p 編集によるフィルムライクな映像など、より高いクオリティが求められています。さらに、短納期へのニーズが高まってきていることも実感しています。収録後、時間をおかずにマルチオフライン編集作業を開始し、オフラ

上野
謙氏

イン編集による OK テイクをタイムラグ無しにオンライン画質で確認できるというマルチフィニッシングルームのワークフローは、時間の削減だけでなく、スケジュールがタイトな中でもクオリティを追求できることで好評をいただいています」とする。7 月のオープンから 1 ヶ月間で、既に数件の大型プロジェクトを担当するなど、フル稼働の状況が続いている。

山本氏は「収録から一貫したサポートや効率的なファイルベースワークフローを提供できること、クリエイティブな編集作業が行えることから、新規プロジェクトも増えています。音楽ライブ・コンサートだけでなく、舞台演劇、スポーツ、格闘技といった各種イベントにも活用が広がっています。今後も一層のサービス拡充を図るとともに、多様なニーズに対して最適なサービスを提供していきたいと考えています」としている。

山本
啓介氏

◇(株)IMAGICA <http://www.imagica.com/>

【赤坂ビデオセンター】

東京都港区赤坂 4-10-4 赤坂クロシェットビル TEL03-3583-1681

【テレビ営業部品川営業グループ】

TEL03-3458-1681



Avid Symphony Nitris 導入のノンリニア編集室(左)と HD リニア編集室(中/右)。赤坂ビデオセンターはノンリニア編集室×3 室、HD リニア編集室×17 室、マルチオフライン編集室×2 室、マルチフィニッシングルーム、MA ルーム×10 室(うち 1 室はワークルーム)というポストプロダクション体制となっている